

貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。今回の講演を通して、大学が受験生に求めていることについて、今まで以上に具体的に理解することができました。特に印象に残ったのは、「大学が求めているのは、4年間で成長できる人である」というお話です。私は総合型選抜では高校時代の実績や結果が重視されるというイメージを持っていましたが、それだけではなく、その経験から何を学び、大学でどのように成長していきたいのかという「成長ストーリー」が大切であることを知りました。自分の過去・現在・未来を一つの流れとして語れるように準備することの重要性を改めて感じました。また、「学問・職業理解」「学校理解」「自己理解」の三つを深めることが進路選択では欠かせないというお話も印象に残りました。これまでは志望大学について調べることばかりに力を入れていましたが、それだけではなく、なぜその学問を学びたいのか、なぜその大学でなければならないのか、自分は将来どのような姿を目指しているのかを、自分の言葉で説明できるようになることが大切だと学びました。さらに、大学ごとに定められている三つのポリシー（DP・CP・AP）についても、改めて確認する必要があると感じました。特にアドミッション・ポリシーは、大学がどのような学生を求めているのかを示しているため、自分の経験や考え方がその大学の求める人物像とどのようにつながっているのかを意識して志望理由書や面接に臨みたいと思います。また、進学率や退学率、卒業後の進路などのデータについても、数字だけを見て判断するのではなく、その背景まで考えることが大切だと学びました。教育学部では、非常勤講師として経験を積んでから教員になる人や、国際系の学部では留学のために休学している人もいるなど、ホームページには載っていない実際の状況を知ることができ、とても興味深かったです。大学の情報を見る際には、数字だけではなく、その理由や背景にも目を向けていきたいと思いました。今回のお話を聞き、これからは志望理由書に書いた内容をさらに深く掘り下げ、どのような質問をされても自分の考えを具体的に説明できるよう、面接対策を進めていきたいと思います。また、大学のホームページや募集要項を改めて確認し、自分の志望理由と大学が求める人物像が一致しているかを見直しながら、納得のいく受験準備を進めていきたいです。改めまして、お忙しい中、大学入試に向けて大変参考になるお話をしていただき、本当にありがとうございました。今回学んだことを今後の受験勉強や面接対策に生かし、第一志望校合格に向けて努力を続けていきたいと思います。ありがとうございました。

倉部様

貴重なお時間とお話をありがとうございました。説明が面白く、内容もすらすら入っていました。これまで総合型選抜は正直言ってあまりよくわからない存在でしたが、今回の講義を聞いて、かなり理解できました。自分の中で一番気をつけようと思ったのは、大学と自分の考えとでミスマッチを起こさないこと、卒業後も見据えた内容を話すことの2点です。どちらも入試だけでなく、自分の将来に関しても重要だと感じたからです。今回の講義での内容を存分に活かして、総合型で受かりたいと思います。

大学入学後に伸びるかを見ているということを知ったのがとても良かったです。他にも志望理由を4000字くらい書いて面接で聞かれたときに志望理由書に書いてないことを言うなど有益な情報が多くてとてもありがたかったです。そして、大学の面接などの時に自分らしさを少しでても問題ないという言葉にすごく勇気をもらいました。ありがとうございました。

本日は、大変有益な講演をしてくださり、感謝しています。基本的に一般受験で行きますが、推薦入試において「大学側からどう生徒を見るか」についてさらに詳しい情報を頂けました。平均年収の大きな違いだったり、受かったあとの行動が及ぼす進学の影響といたり、またミスマッチを減らすために大学によって自分で差別化することの重要性など、かなり役に立つ情報が聴けて幸いです。年収の話が印象に残りました。わかりやすい説明ありがとうございました。

講演会を受けて、大学側が求めている受験生の姿や年内入試のポイント、面接で聞かれやすい質問など様々教えていただきました。私はこの講演会を通して学んだことをこれからの自分のものにして頑張っていきたいなと思います。本日はありがとうございました。

大学に行くのがゴールではなく、その先を考えて入試に取り組んでいきたいなって改めて思いました。倉部さん、入試のことを細かく教えていただきありがとうございました。

年内入試について自分が調べた情報のより詳しいことや知らなかった情報を聞くことができました。特に、大学側は自分たちに対して何を求めているのか、面接の際に気をつけることや話すポイントを知ることができました。大学に入学してから卒業をする人はどの大学もだいたい60%近くで他は中退や留年をしている人が多いことがわかった。このことから入学前からの学習や入学後の学習もしっかりする必要があることがわかった。ありがとうございました。

ご講演していただきありがとうございました。年内入試の人の出願までの時間の猶予がないことを改めて深く知ることができました。今回の講演を聞いてより危機感を持って入試に取り組むことができます。ありがとうございます。

大学が必要としている人材について知れたので良かった。これから面接対策や志望理由書、活動報告書の添削を行う時にこの講演で得たことを活かせるように頑張っていきたいと思う。また、面接で自分がどういうふうになりたいかや自分の経験から得たことを自分の言葉で話せるようにしていきたい。本日講演会ありがとうございました。

「うちで伸びる学生を取りたい」という理念が年内入試に根付いていると理解しました。私は看護系の進路に進もうと考えているので面接等で得意科目や性格など本当に看護師に向いているのか？また現在向いていなくとも自分を変えていこうとする意志があるのかが見られていることを知り、なりたい自分を再度明確化し、大学について調べ上げ、看護師の実情や存在意義を理解し実行できる準備ができている人こそが総合型入試に受かるのだと思いました。本日は貴重なお時間ありがとうございました。

本日はお忙しい中、ありがとうございました。 普段は聞くことができない大学側の考える理想の入試条件や留年や中退になりやすい人の特徴、それは6月ごろには決まっているなどを知って初めて知ることばかりでとてもためになる40分間でした。指定校にしか考えがなかったのがそこが本当に行きたい大学なのかとかをよく考えながら指定校だけに縛られることなく総合型なども視野に入れながら将来のためになるようにしていきたいと思います。

大学が本当に必要としている人材は誰なのか。 総合型では大学に進学した後に積極的に勉学に励む人を見極めるので大学に進学した後に自分がなにをしたいかを面接で話せるようになることが大切。 これらの自分が知れなかった有益な情報を知ることができました。ありがとうございました。

各大学 学部3つのポリシーを自分でしっかり確認して、自分の成長過程をどのように描いていくかを考えて選びたいと講演会を聞いて改めて思いました。 基礎学力が必要であることや大学側の本音のようなものを教えていただいて新たに自分でやらなければいけないことがはっきりしました。マッチングをしっかりと行えるように選んでいきたいと思います。本日はわざわざ講演会をしてくださりありがとうございました。

大学側からの視点をお聞きできる機会は非常に貴重で、たくさんメモを取らせていただきました。 一番印象に残っているのは、「何のために大学へ行くのか、大学は今の私と将来の夢への架け橋にすること」自分の中でまさにその問いに対して、考えていました。 自分の中で、今行なっているビジネスと親の期待、大卒の肩書きとの狭間で、すごく悩んでいました。 自分の中でこの一年をどのように過ごすか、今回の講義と講義後の質問をさせて頂き、きちんと整理できました。

受験生側の目線ではなく、大学側の目線での話を聞く機会はとても貴重で、興味深かったです。確かに大学としては、長続きして、尚且つ結果を残すことのできる生徒が欲しいものだから、自分の強みをアピールする際はどれだけタフなのか、どれだけ意欲があるか、に重きを置きたいと感じました。また、推薦入試だとしても、留年や中退などが起きないよう、オープンキャンパスや模擬授業等に参加し、ミスマッチを無くしていきたいと思います。有意義な時間をありがとうございました。 入試頑張ります！！！！

倉部様、本日は講演会をしていただき、ありがとうございました。 本日の講演会を経て、高校からの視点ではなく、大学側からどんな人たちを望んでいるのか。大学側の視点からのお話を聞けて、自分の中で不安だった部分やどんな人材が欲しいのかの意識をはっきりすることができ、年内入試における準備の道筋がしっかりとイメージすることができました。これからどんな受験までの間、いかように過ごせば良いか、迷っている部分がありましたが、本日の講演会を経て、自分なりに何をすべきかしっかり自覚する機会を得られたので、とても有意義な時間となりました。 本日は本当にありがとうございました。